

第27回土岐市子ども・子育て会議 会議録

■会議の日時:令和6年6月24日 10時から12時

■場所:土岐市役所 3階大会議室

■出席者:土岐市子ども・子育て会議委員

山田 利彦、穴戸 乃梨子、加藤 香奈、福富 泰岳、加藤 隆治、小栗 潔子、鷺見 政人
戸松 陽子、後藤 淳、加藤 千草、中島 冴加、松崎 多恵子、古林 真紀子

欠席者:なし

1. 健康福祉部長あいさつ

事務局 おはようございます。

一同 おはようございます。

事務局 まだ少しお揃いではないようですが、定刻となりましたので始めさせていただきますと思います。

改めまして、皆様おはようございます。本日は、お忙しいところ第27回土岐市子ども・子育て会議にご出席いただき、ありがとうございます。こども家庭課の鈴木と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日、年度代わりで役職を交代されまして、新たに新任で委員となっていた方が4名お見えになります。新しい委員の方へは、お手元に市長からの委嘱状をお渡ししてございます。本来であれば、皆様方おひとりずつお渡しするのが本意ではございますが、時間の都合上、お席への配布という形を取らせていただいております。どうぞご了承ください。また、前委員の残任期間ということで、委嘱期間が書いてございますので、どうぞよろしくお願いいたします。

昨年度から委員を務めていただいております皆様におかれましては、今年度も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。また、本日、前回の会議でお諮りしました通り、本日、土岐市瑞浪市子ども福祉ネットワーク会議から古林様にご出席をいただいております。こちらは土岐市子ども・子育て会議条例第5条第5項により、会長が必要に応じて委員以外のものを会議に出席させることができるとありまして、今年度こども計画の策定にあたりましてご意見を頂戴したいということでご出席いただいております。古林様、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは会議に入ります前に、資料のご確認をお願いいたします。

令和5年度土岐市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況についてという資料でございます。続きまして、A410枚ほどですが、土岐市こども計画策定に関するアンケート調査結果概要が1部、あと、カラー刷りの公立保育園幼稚園の認定こども園化についてという資料をお配りさせていただいております。

新任の方と古林様におきましては、それに合わせて、子ども・子育て支援事業計画の冊子と概要版も送付させていただいております。

また、本日お席にそれぞれ1枚ものですが、土岐市子ども・子育て会議委員の名簿と、土岐市こども計画の策定についてという1枚の紙をお席にお配りしております。資料の確認は以上でございますが、皆様、よろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。

それでは、次第に沿って進めさせていただきたいと思います。初めに、1番、健康福祉部長挨拶。健康福祉部長の熊崎より皆様へご挨拶申し上げます。

健康福祉部長 皆様、おはようございます。

一同 おはようございます。

健康福祉部長 土岐市健康福祉部長の熊崎と申します。本日は、大変お忙しい中、子ども・子育て会議にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。また、市におきまして行われております子育て支援施策につきましては、多大なるご理解とご協力を賜っておりますこと、重ねてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

さて、2023年の1月に国が異次元の少子化対策を示しております。また、特にこちらについては2030年までが勝負どころだということで、急ピッチでこの対策をしていかななくてはならないということを示しております。

若者世代の所得の増加、それから社会構造の見直し、それから組織意識、子育て支援サービスについて、子どもを育てる世代の方々、それからこどもさんご本人、またその方々を含めての市民や企業の皆様、皆様に対して幸福度が高まるような子育て支援施策を講じていかななくてはならないなという風に考えておるところでございます。

本日の会議ですが、令和2年度から5年間の計画期間としております第2期土岐市子ども・子育て支援事業計画が今年度最終の年度を迎えておりまして、来年度からスタートする次期計画について皆様にご意見をいただくものとなっております。

委員の皆様方に様々なお立場から様々な視点で、活発なご意見をいただければと思っておりますので、今後の子育て支援政策の充実につなげていくために、どうぞ忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます、開会のご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

2. 会長あいさつ

事務局 ありがとうございます。続きまして、次、第2番、会長挨拶でございます。昨年の子ども子育て会議にて引き続き会長をお勤めいただくこととなりました山田俊彦会長よりご挨拶をいただきたいと思ひます。お願いいたします。

山田会長 皆さん、こんにちは。今紹介いただきました山田でございます。力不足ではございますが、皆さんよろしくお願ひいたします。さて、皆さん、お手元に資料が届いた時に、大変膨大で、数字がいっぱい並んで、どこをどう見たらいいのかと戸惑われたと思いますが、それぞれ、皆さん代表して見える立場のところを中心に、現状とかをしっかりと見ていただき、感想やご意見をいただければと思ひます。また、それぞれの立場を持ってみえますので、そこでのご意見を出していただければ十分だと思ひます。いつものことではございますが、最後のその他というところで、時間がありませんでしたら、本日の議題あるいは議題で言い忘れたこと、あるいは議題にはなくても、それぞれの立場でやってみること、また、PRしたいこと、皆さんに理解していただきたいこと、呼びかけていきたいことをおひとりずつ順にお話いただこうと思ひますので、心の準備をしていただいとおくとありがたいと思ひます。どうか、よろしくお願ひいたします。

事務局 ありがとうございます。条例では、会長以外に副会長も置くことが定められておりまして、昨年は幼稚園長会の千原先生に勤めていただいておりますが、年度代わ

りで交代いたしましたので、事務局案といたしまして、幼稚園・こども園長会の加藤千草先生に代わりをお願いするということとおっておりますが、皆様、どうでしょうか。よろしいでしょうか。副会長は加藤千草先生をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

3. 委員及び事務局紹介

事務局 続きまして、3番、委員及び事務局、自己紹介でございます。

本日は新しい委員の方もお見えになっておりますので、委員の皆さんからお1人ずつ、簡単に結構ですので、自己紹介をお願いいたします。その後、事務局の方も自己紹介をさせていただきたいと思います。では、配布しております委員名簿の順番でお願いしたいと思います。

委員及び事務局紹介

ありがとうございました。それでは、4番以降、議事へ入っていききたいと思います。ここからは、山田会長様の方に進行をお願いしたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

4. 第2期土岐市子ども・子育て支援事業計画の令和5年度進捗状況について

山田会長 はい、お願いします。それでは4番になりますね。

第2期土岐市子ども・子育て支援事業計画の令和5年度の進捗状況について、事務局から説明願います。

事務局 第2期土岐市子ども・子育て支援事業計画の令和5年度進捗状況について説明

山田会長 はい、ありがとうございました。それぞれ自分の関わるところで見ていただければと思います。それから、随分色々な事業がありますが、それで全てをカバーするということも難しいことです。少し時間を取りますので、感想とか意見、質問等考えてみてください。

山田会長 はい、そろそろどうでしょうか。感想や質問、ご意見ありましたら。その時に何枚目の何番という風に言っていただくと皆さん分かると思いますので、お願いします。

委員 2枚目の1番下。地域子育て支援拠点事業ですが、こちら他のものと比べると数が突出しています。おそらくときめっくに見えた方が多いということだと思いますが、これは土岐の方のみの数字ですか。それともイオンモールですので、他の市から見える方もいると思いますが、いかがでしょうか。

事務局 はい、おっしゃる通りイオンモール中にあるときめっくでございます。土岐市以外の方も利用されております。また、多治見・瑞浪の方も多いですが土岐市の方が1番多いと聞いております。

委員 区分けはされてないのでしょうか。

事務局 区分けはしております。登録していただいておりますので、入る時にQRコードを読むことで、土岐市の方かそうじゃない方かというのは分かります。ごめんなさい、今正確な数字の資料が手元にないのですが、確か3割、4割ぐらいが市民の方となって

おります。

委員 次回から、土岐市の方がどのぐらい使って見えるかっていうのが分かります。土岐市の子ども子育て支援事業ですので、いいかなと思います。よろしくお願いいたします。

事務局 承知いたしました。ありがとうございます。

委員 私も同じ2ページ目の1番下のときめっくのことについてですが、昨日利用しようと思っていたんです。しかし、ときめっくは場所が狭く午前中は多分、乳幼児にフォーカスされているのか赤ちゃんが多く、上の子が年中、下の子が2歳なので、遠慮してしまう。下の2歳は行けても、年中はどこだろうってなった時に、ちょっと違うかなとなってしまいます。夕方3時ぐらいですと入れますが、そこに行くと、掲示してある内容は児童館の情報、おっぱい相談の話とか、そういう、乳幼児に対する情報はたくさんありますが、小学生のお子さんとかが、今後遊ぶところはどこなのかと思いました。また、ときめっくを運営しているNPO法人のやっている施設が私の地元にあり、そこは広い施設で乳幼児のコーナーもあれば、大きい子の講座、保育園や小学校の情報を、ママさん同士やスタッフさんから聞く機会がありましたが、ときめっくは乳幼児にフォーカスが当たっているので、小学生の情報を知りたいと思った時、どこに行けばいいかわからなくて。児童館は平日、土曜日やっていますが、日曜日はやってない。今働いていて、休みが日曜日しかない。子どもの習い事とか、学童がどういう風にやっているかの情報を得る場所は一体どこにあるのか。子育て支援拠点事業は学童のことにに関してフォーカスされていないのかと思いました。

山田会長 はい。今のことに関わりまして、委員の方の中で何かありましたら。

委員 児童館という言葉が出ましたので、児童館を運営している立場からのお答えをさせていただきます。情報につきましては、なかなか皆さんのお手元に届きにくいなというところで、現在広報機能拡大の方を検討しているところです。児童館の情報は、今現在、土岐市社会福祉協議会の方のホームページで、月刊行事予定を今ですと7月まで出しております。月初めに翌月の行事等掲載したものをしております。その中で、カレンダーが出ておりまして、いつが休みか、何時から何時までやっているかというのを書いておりますので、そちらを見ていただくしか情報がない状況になっております。

山田会長 他委員の中でどうでしょうか。では、事務局さんで何かありましたら。

事務局 貴重なご意見ありがとうございます。おっしゃるように、地域子育て支援拠点というのが子育て支援センターとなっており、0歳から2歳の小さなお子さんに来ていただくところですが、それがときめっくにあたります。多分、混雑している時は、0歳、1歳の赤ちゃんが多いので、年長さん、小学生のお子さんに対して危ないから走ったりするとねっという話はしていますが、入ってはいけないってことにはなっていません。また、情報ということですが、色々な情報を1つのところで手に入れるというのは、確かにその方が今風で言うと、タイプがいいということですので、ときめっくでも色々な情報が得られるように、一度指定管理者とも協議をしてみたいと思っております。貴重なご意見ありがとうございます。

山田会長 はい、よろしかったでしょうか。はい、ありがとうございました。あと、じゃあ、他にありましたら。

委員 資料の3ページのファミリーサポートセンター事業と4ページの妊婦健康診査事業ですが、私自身が多胎妊娠でしたので、令和4年度から多胎妊婦に対して追加で2枚

交付しているっていうことはすごく助かると思いました。私は後半ずっと入院していたので、その分健診の回数が増えて、入院していてもこの券が使えるのでその分は支払わなくて済みました。やはり長期入院しますと健診も増えて、その分お金も出ていき、自分で賄えないお金になってしまったので、こういった多胎妊婦に対してのサポートと言いますか、そういうのがこれからも増えていくといいなと感じました。ファミリーサポートセンター事業のことですが、その双子の子育てが本当に大変で、こういうのも頼ろうとしたんですけど、申し込みして、マッチングしてというのがなかなかできず、結局利用せずに終わったっていうことがありました。段々増えていることはいいと思いますが、もう少し利用しやすく、大変な家庭にはファミリーサポートの案内を訪問の時に今よりももっとしっかり周知して、市が主導となって繋げてあげる形にさせていただくといいのではと思いました。

山田会長
事務局 はい、ありがとうございます。今のことに関わりまして、事務局からあります。貴重な意見ありがとうございます。おっしゃる通り、そうですね、市から積極的に

情報をプッシュしていくというか、待っているばかりではなく、特にその支援が必要という方にはファミサポも含めて利用できるような情報を何か周知できるような形でしていきたいと考えております。ありがとうございます。

山田会長
委員 よろしかったですか。他委員さんの中で今のことに関わりまして、もし何かあれば。今のファミリーサポートのことですが、ファミリーサポート会員さんの数は今大体どれぐらいいらっしゃるんでしょう。

事務局 サポート会員の数でございますが、令和5年度末の数字が95名でございます。

委員 サポート会員を増やすPRはどこかでされているのでしょうか。

事務局 そうですね、ときめつく内で職員の方からお声がけをさせていただき、研修等も積極的に行っております。広報にもサポート会員になりませんかという風に周知させていただいて、地道に少しずつですけども増えているという状況でございます。

委員 今回のファミリーサポートセンターについてですが、少し私もお手伝いさせていただいていますが、希望される方とこちらお手伝いをする方のマッチングをするんですが、双方がイオンモールに出向いてそこで顔を合わせてマッチングするという形になっていますが、時間がない方、あとそこまで出向くことができない、使用したい方に対しても、もう少し柔軟に対応できないでしょうか。もっと使いたいけどという方が増えたりとか、あと、サポート会員の方も年に1回ですかね、2日間講習を受けるというのがありますが、丸1日ですので時間を取れない方にとっては、講習に参加できないから手伝えないという方も結構いらっしゃると思います。その辺をもう少し柔軟な形でやっていくと、サポートする方も増えるのではないかと思います。

事務局 貴重なご意見をありがとうございます。サポート会員と、あと利用する会員とのマッチングの話ですが、イオンモールでということで、それがちょっとネックになっているのではないかとということでしたが、おっしゃる通りでそういったところもあるのではと思っております。ただ、利用する、預ける側の方双方がどんな方かわからないというのはもちろんありますので、安心できる環境でのマッチングといった見方もございます。ただ、それによりサポート会員が増えないということであれば、他の方策もというのもあるかと思いますので、その辺も含めながら考えてまいりたいと思います。

山田会長 ありがとうございます。泉西の公民館でもそういうお母さん方、若いお母さん方、

それから託児付きでそういう講座に参加できるとか、そんな場をね、そんな講座とかも用意してやっておりますので、また色々見ていただけるといいと思います。他にどうでしょうか。

ご意見いただきまして、ありがとうございました。

5. こども計画策定にかかるアンケート調査結果について

- 山田会長 次、5番ですね。子ども計画策定に関わるアンケート調査の結果について、事務局からご説明お願いいたします。
- 事務局 こども計画策定にかかるアンケート調査結果について説明
- 山田会長 はい、ありがとうございました。たくさんありましたが、ちょっと時間を取りますので、質問とか、もう一度聞きたいとか、何かご意見がありましたら。
- そろそろよろしいでしょうか。先ほど申し上げましたが、ページ数と番号も言っていたいただくとありがたいです。
- 委員 10ページの病気や怪我で通常の教育保育事業が利用できなくなった場合の母親が休んだ、父親が休んだ、の下のグラフですね。ファミリーサポートセンターを利用した、仕方なく子どもだけで留守番させた等色々ありますが、そのファミリーサポートセンターを利用したとか病児保育を利用したというのは、いきなり子どもに何かあった時に、どこに頼ったらいいのかというのは中々分からないと思います。そうなった時に、相談する機関はあるのでしょうか。あるなら教えていただきたいなと思います。
- 山田会長 事務局いかがでしょうか。
- 事務局 病児保育自体土岐市で実施しておりまして、事前登録等もありますが、そういったことも全て含めて、全て子ども家庭課にご相談いただければ。こども家庭センターが今年から開設され、先ほど申し上げましたとおり妊婦から、と範囲も広まりまして、子ども・子育てに関する全てのところがございますので、何でもご相談いただければと思います。病児・病後児保育につきましては、私どもこちらからも周知を図り皆様に知っていただくことも必要だと思っております。
- 委員 ありがとうございます。例えば、救急で何かあった時、夜中とかに何かあった時に救急でかけたりとかする電話番号とかもあったりしますが、もし可能であれば明日仕事ですがどうしようというお母さんが見えになった時に、市役所のそういうところに電話してくださいという機関があれば助かるかなと思いました。
- 山田会長 あと、いかがでしょうか。
- 委員 今の病気のことと関係して思うことですが、6ページ目の親族、知人等の協力者の状況で、日常的にその方に見てもらえる、は減り、緊急時の用事の時はその方に見てもらえる、が増えているというところは、私も同じような状況です。自分の親は近くにおらず主人の親が隣市にいる状況ですが、日常的に会える距離感ではあるけど、別に会うことも特になく、緊急の時にお願いすることはありますが、そこがダメだった時はやはり自分が仕事を休むのか、主人が休むのかというのは、こどもの熱が夜に上がり始めてからの調整に入ります。病後児保育やファミリーサポートがあるということは頭の片隅にはあっても、次の日の朝にということではできませんので、できましてら夜の間に申し込みできるようなシステムを組んでもらえるとありがたいなと思います。緊急の時はどこに相談していいかわからずパニックになっている時にファミサポ

とか本当に出てこないんです。ですので、周知徹底していただき、先ほど社会福祉協議会のホームページに色々出ていますよとさっき教えてくださったんですけど、そこに多分たどりつけないです。市役所でSNSをやっていただけると、普通の状態の時にこういうものがあるのだと目に止まると思いますので、うまく活用してくれたらありがたいと思います。

山田会長 はい、ありがとうございます。今のご意見に関わりまして、委員さん方の中で何か情報とかご意見ありましたら。

委員 以前、病児保育を使おうとしたことがあったのですが、仕事で誰も休めなくて、どうするどうするみたいになった時に、今おっしゃっていたみたいに、事前登録というのがだいぶ前になりますが、そういうのがありましたが、今も事前登録はあるのでしょうか。

事務局 事前登録やっております。事前登録は、その子の既往歴、かかりつけがどこなのか等、保育所が預かる上でどういったこともさんなのかということを事前に利用登録書に登録していただいております。

委員 その案内はどこで受け取れるのでしょうか病児保育を利用したいとなった時に、事前登録をしなければならないなら無理だ、みたいになってしまいます。

事務局 先ほどの皆様のからの意見を聞くと、もちろん病児病後児保育に関わらず、色々な情報を、色々な場所で受け取れるというか、広報に載せたりしていますが、それ以外に、先ほどSNSというご意見もいただきました。プッシュ型ですね。必要な情報が必要な時に受け取れるような形で改善できたらなという風には思っております。

山田会長 他にいかがでしょうか。

委員 15ページですね、アンケート調査ですけども、小学校入学に学校に行きたくない、いじめられたと回答した割合が一定数いる。このグラフを見て思ったのですが、何か感じられていることありますか。ちょっとご意見お聞きしたいです。

委員 これを見た時に今1番感じたことは、この「学校に行きたくないと思った」というその原因ですね。理由については、明らかなものはいじめという言葉は出てくると思うんです。ただ、この行きたくないという中には、色々な要因があるんだろうというところで、おもてに出てきていない部分について聞きたいと思いました。一方、若者の17ページのところについては、その具体的なことは質問されていますが、これがポンとおもてに出てきた時に、いじめが原因でという風に感じられると、これは困るなと思った次第です。確かに、いじめや友人関係の悩み等でちょっと学校行きたくない生徒が一定数いることも事実で、そのことについては学校では教育相談等充実させて今実施しているところですが、それでもなかなか解決していかないところです。

山田会長 よろしいでしょうか。今の意見に関わりまして、他の委員さんで何かありましたら。

委員 私のこの学校に行きたくないが半数近くあり、その下にいじめられたとかがありましたのでそういう理由で行きたくないと思ったのではと一瞬思いました。今の時代は情報がたくさんあり、例えば学校の勉強に重きを置かずに、音楽がやりたい、音楽を追求したいとか、自分の趣味をもっと学びたいことがあるから、学校に行く時間ももったいないと思うことももてくる時代になっていると思います。しかし、学校の先生から呼ばれてなんと言われたら、多分言えないと思います。そこをどういう風にフォローしていくかも今後大事にはなってくるのではと思います。学校で学ぶこともすごく大事だと思うんです。勉強だけではないことを学んでことは大事だと思い

山田会長 ますが、やりたいことがあるこどもの夢を伸ばすことも必要ではないかと思いました。
ありがとうございます。本人も言えないこともありますので、一生懸命考えてお腹が痛いとか。なんかそれも気の毒なことで、難しいとこだと思います。このアンケートは確か全国一緒でということで、もうちょっとこういう風に聞いたらどうやっていう意見も昨年ありましたが、全国調査ということで変えられなかった部分もあったことを思い出しました。
まだ調査の結果ですので、そういう数字かということが分かった段階だと思います。またこれを元に進めていっていただければと思いました。
時間も詰まってまいりましたが、最後、6番ですか。公立幼稚園、保育園

6. 公立保育園・幼稚園の認定こども園化について

山田会長 時間も詰まってまいりましたが、最後6番、公立保育園・幼稚園の認定こども園化について、事務局からご説明お願いいたします。
事務局 公立保育園・幼稚園の認定こども園化について説明
山田会長 はい、ありがとうございました。この地図については何かありますか。
事務局 現在の市内の園の状況を記載しております。青色については幼稚園、赤色については保育園と子ども園、緑色については、主に0歳から2歳児が通える地域型の保育事業所を記載してございます。駄知地区が画面の中央やや右下あたりにございますが、駄知幼稚園とみなみこども園がございまして、こちらを先ほどもご説明しましたが、令和8年度から今の幼稚園のすぐそばにこども園を設置するという計画をしております。
山田会長 以上、計画について、よろしいでしょうか。

7. その他

山田会長 はい、ありがとうございました。では、その他ということですが、時間もおしてまいりました。1人30秒ぐらいしか時間が取れませんが、皆さんにPRしたいこと等ございましたら、順番をお願いいたします。
委員 こどもというくくりが何歳までかということを主任児童委員の間にも話題になっております。18歳までとか20歳までとか、色々説があるんですが、ケアが必要な年齢までということで。主任児童委員では、中学生までは学校に通ったり訪問したりして状況が把握できますが、それ以上のお子さんに関してはなかなか情報が入ってきません。地域の皆様からご家庭の様子がおかしいとか、色々な気づきがありましたら、ぜひ一報いただけると大変助かりますので、よろしくお願いします。
委員 小中学校ですが、基本的に義務教育ですが、保護者の方が学校へ相談にみえる。色々相談に来ていただいた際に地域の施設等を紹介させていただいたりしております。ただ、その情報が、それぞれの学校ごとに掴んでいる情報でお話をさせていただいているところがあります。今度、教育委員会で教育支援センターを立ち上げていただきました。そこで情報化が一本化されることで、学校としても大変助かりますし、また保護者の方もそこを利用していただけるといいのかなと思っております。
委員 今回、多くの事業報告を聞かせていただき、やはり知ることが大切だと感じました。

広報やホームページを活用するといいということも書いてありましたので、園でも保護者の方に知っていることを周知していけるといいのではと思っております。今後も、こども家庭課と連携しながら、保護者の意見を伺いながら運営していきたいと思っております。

委員 今、保育園にこどもが行っていますので、保育園のサービスにすごく感謝しています。小1の壁がもうすぐ来ることに震えています、働く親とこどもをサポートする事業が今後増えていくことを期待しています。

委員 すいません、私、防災士の立場からちょっとお話しさせていただきたい。土岐市では防災頭巾とかそういうものはないですね。支援学校では頭巾を持っていますが、例えば地震が起きた時にその場では下に潜りますね、机の下に。では、校庭に出ますよとなった時、その間に何かがあった時にどうしますかというところです。今、銀行でもお客様用にヘルメットが置いてあります。今日お借りしてきましたが、これ、新潟市で、小学校の机の中に入っているものです。机の中に入れてあり、これがパッと開くとヘルメットになるんです。能登半島地震、皆さん以前のことになっているかもしれないませんが、先生だけヘルメットかぶっても困りますので、こどもたちに対しても、こういうものを1人に1つずつ配布していただくことをしていただけるとありがたいなと思います。

委員 初めて参加させていただきまして、皆様のご意見をたくさんお聞きすることができて、大変有意義な時間になりました。私たちは障害児が通所する支援をさせていただいている団体ですので、こども計画策定では障害児への手厚い支援についても盛り込んでいただき、一緒に考えていただけたらということを感じました。あと1点、子育てをしてみえる保護者さんもこどもたちも、今孤立しているような問題がすごくあるんだということを感じました。たくさん事業をやってみえますので、そこに関わる者たちがより深く連携を組み、保護者さんも一緒に考えていける事業をやっていけたらいいなと思って参加させていただきました。ありがとうございました。

委員 ありがとうございました。PTAから今回参加させていただきました。うちの子もたちは、小学生、中学生に上がっており、サポートセンターとかに頼らず自分でやってこられたので、そういう情報をあまり知らずに来ましたが、小学校、中学校になってもそういうものが必要な家庭もきっとあると思いますので、PTAでもそれぞれの家庭のつながりをもうちょっと強くして、何かあった時に相談し合える仕組みというか、そういうものが必要なのではと思いました。PTAから何ができるかについては分からないですが、PTAでもみんなで話し合い、こういうサポートの体制があるよっていうもののPRが何かできればと思いました。ありがとうございます。

委員 本日はありがとうございました。こども園に対してお母さん方からご意見預かってきたのですが、今日はお時間がないので、また次回以降にお話させていただいてもよろしいでしょうか。お願いします。ありがとうございました。

委員 先ほど他の委員がおっしゃっていましたが、うちのこども園、花園さんも頭巾を個人で持っています。ヘルメットはないですけど。私ども保育所等は日々利用しているこどもだけでなく、地域の親子についても一定の責任を果たすという必要性があり、幼稚園教育要領にはですね、地域における幼児期の教育センターとしての役割を果たすよう努めるという文言があります。今後も、地域の子ども家庭福祉の拠点を目指して頑張ってまいります。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いし

ます。

委員

改めて、土岐市がいろんな子育て施策をしていると感じました。ただ、そこで見えてくる問題が発信力。今日の話でも色々出てきましたが、そこがすごくもったいないと感じました。特に、先ほど他の委員が言われたみたいに、小中学校のことについてはどこで聞いたらいいんだろうとか、救急でパニックになってしまったらどうしたらいいんだろうと考えた時に、例えば土岐市が子育て発信室みたいなホームページを1個作っておいて、こどもができて母子手帳をもらう時に、何かあればここ見てくださいね。全て網羅されていますみたいなページが1個あると、例えば、保健センターの情報だったり、子育て支援センターの行事だったり、ときめっくさんの内容だったり、熱が出た時にこどもの病気ってところを押すだけで、今日の救急がぱっと出たりとか。こどもに携わるものが1つに集中して、それがWebで閲覧できる。今見ない方はいないと思いますので、やっぱりそこに力を入れるのも1つの手ではないかとすごく思いました。

委員

たけのこ園では毎日地域をお散歩する保育をしております、こどもたちと一緒に地域を歩きますが、昔から散歩していますので、地域の方には温かい声をいただいたりしています。しかし、横断歩道で立っていても、こどもたちがいっぱいいるのに、車が止まってくれない。半分は止まってくれない感じです。育てやすさというのが地域の大人がこどもを大切にしようとか保護しようという気持ちが本当は大事ではないかと思います。色々な施策も充実していいですが、やはり地域で大切に育てようという気持ちを出すというか、それを受け取れるかどうかで子育てしやすさが違うと思いますので、市役所より色々旗を振って、みんなで大事に育てましょうという雰囲気を作っていっていただきたいと思っています。

委員

情報発信というところで、先ほど他の委員より情報の入手方法等について意見いただきました。項目4のところで簡単にはお答えさせていただきましたが、児童館関係ですと、他委員の言われたとおり保護者の方が欲しい情報と比べると、ちょっと弱い、少ないところはあるんですが、児童館や、あと児童センターでやっている子育て支援センターについても、保護者の方の相談窓口にもなっています。あと、調査の中でも、なかなか学校に行けない子も、児童館に来て職員に相談したりという対応もしております。地域の方に児童館や子育て支援センターがそういった窓口であることを認識してもらうように、情報発信については色々考えていきたいと思っています。世間的から見ると少し遅いですが、つい先日インスタグラム始めました。そういったものも活用しながら情報発信を検討していきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

山田会長

はい、ありがとうございました。時間オーバーしてしまい申し訳ございません。皆さん、本当に貴重なご意見ありがとうございました。私もずっとこの会議をやっておりまして、いつも話題になって最後に思うことは、情報発信、皆さんへの周知。便利手帳も出していただいております。また、たくさんの事業、施策をやっていただいております。しかし、どれだけ施策や事業を出したとしても、必ずどこかに隙間があるものです。そして、その隙間を埋めていくことが、今皆さんおっしゃったように大事なことだということです。この会議もその隙間を埋めていくような会議だと思っています。それから、自分の団体に戻った時に、このことはまた皆さんに伝えて横の連携を広めていくこと、そして、傍聴してみえる議員の方もせっかく聞いていただきましたので、このことをもっと広げていただきたいです。以上でございます。ありがと

うございました。時間が延びてしまったこと、申し訳ございませんでした。事務局、お返しします。

事務局

山田会長、ありがとうございました。時間過ぎましたけど、1点だけ。今後のスケジュールということで、1枚ペラのこども計画の資料ですね。今後のスケジュールが1番下段に載ってございますが、今年度1年でこども計画を策定していきます。今年度あと3回の会議を予定させていただいております。次回の会議、第28回と書いてございますが、令和6年10月頃に計画の素案というか概要をお示しできたらと思っております。岐阜県も今、こども計画を作り始めたところです。県の計画を参照しなさいということがございまして、県の計画がどうも10月頃、市にも提示されるかなというところです。少しギリギリのスケジュールにはなりますけども、そちらも参照したうえで計画の素案を提示できたらと思っております。その後2回、12月、来年の2月ということで、現在予定させていただいておりますが、計画の進捗具合によって前後するかもしれません。残り3回ということで、大変お忙しい中恐縮ですが、また皆様ご協力いただけたらと思っております。日時等決まり次第、お手紙等でご連絡させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。以上でございます。

山田会長
事務局

はい。ありがとうございました。皆さん、お疲れ様でした。

ありがとうございました。それでは、これを待ちまして第27回子ども・子育て会議を終了いたします。長い間、お疲れ様でした。ありがとうございました。